

## 『プロポーズの言葉コンテスト2015』最優秀賞が決定

2015/05/27 15:02



## 【拡大写真】

『第9回 全国プロポーズの言葉コンテスト2015』授賞式に出席した（左から）大石参月、桂由美氏（C）ORICON News inc.

NPO法人地域活性化支援センター主催『第9回 全国プロポーズの言葉コンテスト2015』の審査発表が27日、都内で行われ“いまは不良債権だけど、そのうち当たりの宝くじになるかもしれんけん…。もらって！”（大阪府／女性）が最優秀賞に選出された。

最優秀賞は「彼がエリートサラリーマンで、私はしがないOL」という女性からの言葉で、「いつかライターになりたいという夢を応援してくれるのは彼だけ。投資してもらうなら、彼しかありえない」という思いから、この言葉を思いついたという。

同コンテストは、少子化対策への貢献を目的に2007年よりスタートし、毎年6月第1日曜の「プロポーズの日」にちなみ開催・発表している。今年で9回目となった同コンテストには、過去最多となる3116点の応募があった。

近年、女性から男性へのプロポーズも定着してきたが、今年は若い男性から女性へのプロポーズが増加。男性からの言葉は全体の70%となり、主催者側は「景気の回復を反映して、男性が自信を取り戻しているのでしょうか」と分析している。

そのほか、特別賞に“まだまだ未熟な僕だけど、やっとあなたを幸せにする準備ができました。結婚してください”（兵庫県／男性）と、“僕のパンツを洗ってください！”（長野県／男性）が選ばれた。

審査員はファッションデザイナーの桂由美氏、華道家の假屋崎省吾氏ら。ゲスト審査員に歌手の板野友美が参加した。また同日は、タレントでモデルの大石参月が、桂氏が会長を務める『全日本ブライダル協会』の「ウエディング推進大使」に任命され、任命証授与式も行われた。

## ■過去3年の最優秀賞

2014年：「赤い糸の25年保証。契約更新してもいいかな？」（女性→男性）

2013年：「大船に乗ったつもりで私についてきてください」（女性→男性）

2012年：「ふう～やっと、就活終わったよ。でも第一志望じゃなかったんだ、本当は…。あなたに永久就職させてください」（女性→男性）

## 関連写真

